平成31年3月15日

会員各位

鎌倉市医師会会長　井上　俊夫
健康スポーツ医担当理事　田邊　　巌

ホストタウン自治体とアンチ・ドーピング等に関する連携・協力について

標記の件につきまして、神奈川県医師会より案内がまいりましたので、お知らせ致します。鎌倉市は、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、フランスのホストタウンとなっており、選手への医薬品の処方、一般用医薬品等が必要となった場合には、選手に対してアンチ・ドーピングへの配慮が必要になります。つきましては、以下のホームページ等で内容をご確認いただき、ご協力をお願い致します。

公益財団法人　日本アンチ・ドーピング機構ホームページ

https://www.playtruejapan.org/code

神奈川県医師会
理事　渡辺雄幸

ホストタウン自治体とアンチ・ドーピング等に関する連携・協力について

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、別紙のとおり日本医師会常任理事より、標記協力依頼がありましたのでご送付いたします。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、東京大会に参加する国・地域の選手等と日本の自治体の住民が交流を行う「ホストタウン」が推進されており、現在全ての都道府県で1以上のホストタウンが存在し、既に国際大会の事前合宿などを行い、選手との交流を行う自治体も出てきています。特に事前合宿を行う自治体はもちろんのこと、事後交流を行う自治体においても、選手が練習等の怪我や、急な環境の変化等による体調不良などで地元の医療機関・薬局等を利用する可能性もあると想定されます。医薬品の処方、一般用医薬品等が必要となった場合には、選手に対してはアンチ・ドーピングへの配慮が必要となり、ホストタウン自治体においては、関係機関間でアンチ・ドーピング等に関する情報共有、連携等が図られていることが重要です。

つきましては、ホストタウン自治体から協力依頼があった際は、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

2019年2月22日

公益社団法人　日本医師会　御中

内閣官房東京オリンピック・
パラリンピック推進本部事務局

ホストタウン自治体との連携・協力について（依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京大会」という。）に向けた施策の推進に御理解、御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局では、日本全国で多くの国民の皆様が東京大会に関わることができる取組として、東京大会に参加する国・地域の選手等と日本の自治体の住民が交流を行う「*1ホストタウン」を推進しております。

ホストタウンの登録数は、2018年12月28日現在で288件、自治体数358、国・地域数111となっております。北海道から沖縄まですべての都道府県で1以上のホストタウンが存在し、既に国際大会の事前合宿などを行い選手との交流を行う自治体も出てきております。

これらのホストタウンでは、東京大会の前後で相手国・地域の選手、スタッフ等と自治体の住民が交流を行うこととしています。特に事前合宿を行う自治体はもちろんのこと、事後交流を行う自治体においても、選手が練習等の折の怪我や、急な環境の変化等による体調不良などで地元の医療機関・薬局等を利用する可能性もあると想定されます。医薬品の処方、一般用医薬品等が必要となった場合には、選手に対しては*2アンチ・ドーピングへの配慮が必要となります。ホストタウン自治体においては、関係機関間で選手の受入れに際する対応を始め、アンチ・ドーピング等に関する情報共有、連携等が図られていることが重要であると考えています。

このことにつきましては、ホストタウン自治体からもそれぞれの自治体内の関係機関への協力依頼があろうかと思いますが、貴団体におかれましても、ホストタウンに関する御協力をいただくよう、貴団体の関係各団体、関係の皆様への周知をお願い申し上げます。

＊1：ホストタウンの概要等については、別紙を参照ください。

＊2：アンチ・ドーピングについては、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のHP（https://www.playtruejapan.org/code/）を参照ください。

内閣官房東京オリンピック・パリンピック推進本部事務局
担当：勝野・金子・林
〒100-8968 東京都千代田区永田町1-6-1
TEL：03-3581-0924　FAX：03-3581-4355
e-mail：contact.host-town.q6u@cas.go.jp

【別紙】

ホストタウンについて

（福島県本宮市　地元中学生等によるロンドン訪問 2018年７月）

（千葉県成田市　米国陸上選手等の陸上クリニック 2018年10月）

2019年2月

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/hosttown_suisin/index.html

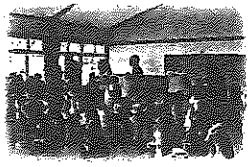
現在のホストタウン登録状況

「ホストタウン」とは？

日本の自治体と、2020年東京大会に参加する国・地域の住民等が、スポーツ、文化、経済など を通じて交流し、地域の活性化等に活かしていくもの。ホストタウンに登録されると、特別交付税 措置として交流活動の1/2の支援が得られる。

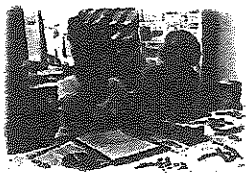
○大会参加者との交流

- 大会前後で大会に参加した外国人の選手（オリンピアン・パラ リンピアン）と交流



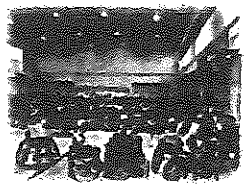
○大会参加国の方々との交流～外国を知り日本を伝える

- 相手国からゲストを招き、歴史や文化を知る
- 児童・生徒同士の交流（お互いの文化を紹介）
- お互いの祭りやイベントに参加し合う



○日本人オリンピアン・パラリンピアンとの交流

- 過去にオリンピック、パラリンピックに参加したことのある方々との交流（競技体験、講演等）



【2018年12月28日時点】　登録数288件、自治体数358、相手国・地域数111

※２か月ごとに登録

ホストタウンへの財政上の支援策の概要

【交流事業への支援（ソフト）】
- 交流事業等に係る対象経費（一般財源）の2分の１を特別交付税措置

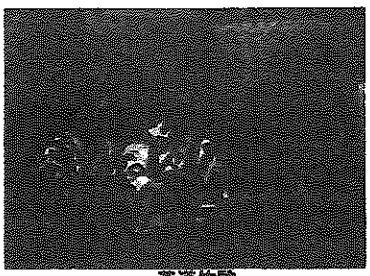
【施設改修への支援（ハード）】
- 競技施設の改修経費※を対象に地方債（地域活性化事業債。充当率90%）の発行。
  → その元利償還金の30%を交付税措置
  ※ いわゆるIF基準（国際競技連盟が定める基準）を満たすために必要な既存の競技施設等の改修経費

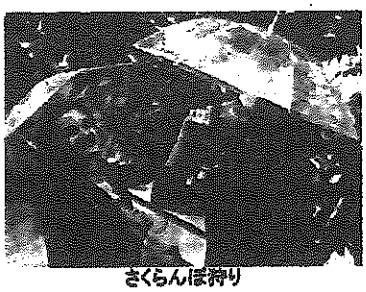
【バリアフリー化への支援（ソフト・ハード）】※ホストタウン以外も対象
- 民間施設、交通施設のバリアフリー化に対する特別交付税措置
- 公共施設等のユニバーサルデザイン化のための改修事業に対し、地方債（公共施設等適正管理推進事業債（充当率90%））の発行。
  → その元利償還金の30%（財政力に応じ30～50%）を交付税措置。
  （2018年度新規）

スポーツキャンプの受入に合わせた様々な取組

○ 山形県村山市は、2017年6月にブルガリア新体操ナショナルチームの事前キャンプを約2週間にわたって受入れ。
○ スタッフ・選手26名が日本の気候、食、文化などに慣れ親しみ、最高の状態で東京大会にのぞみたいという趣旨で今後毎年この時期に村山市を訪問する予定。練習の合間には、日本文化の体験（浴衣着付け、茶道、華道等）、日本食の体験、旬のさくらんぼ狩りなどを実施。
○ 地元小中学校への訪問、地元中学校新体操部との合同トレーニング、公開演技会（村山市民体育館で2日間に渡り実施。観客は満員で併せて3,600名が来場）の開催などにより、地元市民との交流も実施。
○ 2018年も6月に合宿を実施。

公開演技会の様子


茶道体験


さくらんぼ狩り

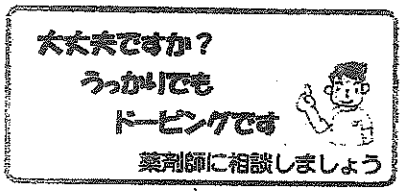
日本食の体験

昼食、夕食はバイキング形式で宿泊しているホテルで一般客にも提供

華道体験

アンチ・ドーピングに関する研修会の開催

○ 山形県村山市は、2018年10月に合宿を行うブルガリア選手が安心して大会を迎えるために、関係スタッフや一般市民がドーピングに関する正しい知識を持つことを目的に「防ごう！うっかりドーピング」というタイトルで、田中久美氏（山形県薬剤師会理事、アンチドーピング委員会委員長）を講師に講習会を開催。
○ ブルガリア新体操チームの合宿などを支えるボランティアや体育館の職員など約30名が参加。
○ 講習では、栄養ドリンク、家庭用かぜ薬、漢方製剤、貼り薬、塗り薬などで禁止薬物が検出されるおそれがあること、事前に届け出れば治療目的で禁止薬物を含む薬の服用や注射を認める制度があることなどを説明。
○ 参加者から「選手が食べてはいけない食品はあるか」「果樹園見学でハチにさされた選手がいたらどのような薬で手当てすればよいか」といった質問が出た。田中氏からは市販薬なら薬剤師や県薬剤師会のドーピング防止ホットラインに照会するよう回答。



ドーピングとは？

スポーツのフェアプレイ精神に反し、競技者の健康を損ね、人々に夢や感動を与えるスポーツそのものの意義を失わせるものです。
日本で多いのは禁止薬物が入っていると知らずに摂取してしまう「うっかりドーピング」です。うっかりの場合でも、ドーピング規定違反とみなされ、記録抹消や競技大会への出場停止などの厳しい処分が下されます。

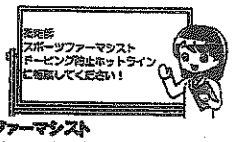
ドーピング禁止物質って

病院などで処方してもらったお薬、薬局やドラッグストアで購入したお薬には、禁止薬物が含まれているものがあります。
咳止め、風邪薬、漢方薬、虫歯、歯痛、のど飴、ドリンク剤にも含まれていることがあります。

健康食品やサプリメントにも禁止薬物が含まれていることがあり、使用には注意が必要です。

団体選手も検査対象者！！！！

薬を使いたいとき、だれに



☆スポーツファーマシスト
ドーピング防止について知識を持ち、正しい薬の使い方などの指導ができる薬剤師の事です。
☆ドーピング防止ホットライン（山形県薬剤師会医薬安全センター内）
FAX 023-625-3970 TEL 023-622-3550（平日 10 時～16 時）
薬の名前の間き間違いを防ぐため、FAX か問い合わせフォーム※による問い合わせをお願いいたします。
※山形県薬剤師会のホームページでは、お問い合わせフォームがあります。
また、スポーツファーマシストの問い合わせ先リストを掲載しています
山形県薬剤師会

相談の際の注意点は？

即答できない場合がありますのでお早目にご相談ください。
使っているものの空箱などを用意し、商品名を正確に伝えて質問してください。

一般社団法人山形県薬剤師会

Q: ホストタウンにおいて、選手へ提供する食事に調味料として使用するもの等で、ドーピング規則違反となるような禁止物質が含まれているものはあるか？
また、禁止物質を含む調味料や食材などのリストがあれば教えて欲しい。

↓

「農業や一般的な食材でドーピング違反となった事例はありますか？」

↓

「過去に中国やメキシコの豚肉に含まれていたクレンブテロールで陽性判定が出たことがあります」

ホストタウンでの食文化発信の取組

ホストタウンでの飲食提供を行う際に以下のような取組を期待。

○事前合宿を行うホストタウン

- 組織委員会の調達基準、飲食提供戦略を参考に「選手村」に近い食事の提供を可能な範囲で行うことが大切。

⇒ベストパフォーマンスを発揮するための食事（スポーツ栄養等にも対応）。
⇒選手にとっての日常食の提供、食品安全、ドーピングコントロール等への配慮。

飲食提供戦略：東京2020大会における飲食物により、選手が意図しないドーピングを引き起こすことがないよう、調達も含め食材の管理を徹底するとともに、ドーピングに関する関係機関や国内外からの情報収集に努める。

○競技後交流を行うホストタウン

- 地域の食文化を楽しんでもらうことが重要。

⇒地域の食の発信を行ってもらえるような取組を行う。
⇒単に食事を食べてもらうのみならず、収穫体験、調理体験、生産者等との交流などを企画。

○共通して配慮が必要な点

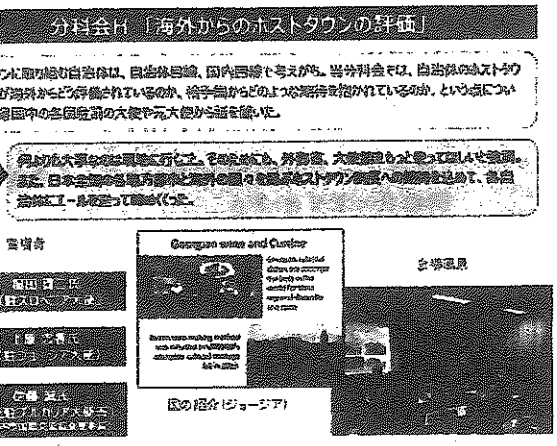
- 宗教上の配慮、アレルギー等への対応

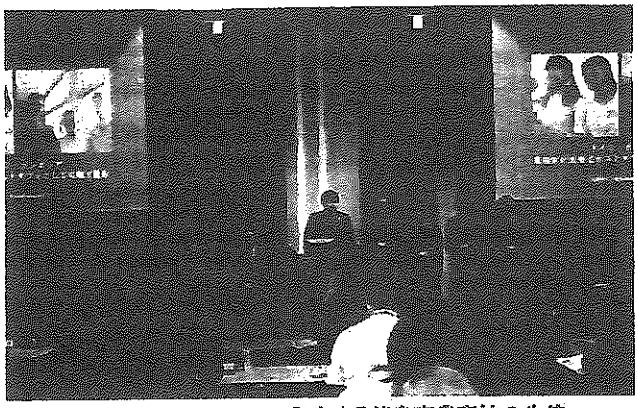
ホストタウンサミット

018年2月25日（日）に武蔵野大学有明キャンパス（2020年の競技会場予定地の中心に位
において、内閣官房オリパラ事務局主催の「ホストタウンサミット」を開催。自治体を中心に、民間企業・
在京大使館関係者など550名が参加。
食、教育などの各分野において先進的な取組を行っているホストタウンより発表を行うとともに「復興ありが
ストタウン」及び「共生社会ホストタウン」における取組も発表。
らに、「ホストタウン×α」をテーマに、食、観光、人材育成、市民参加、国際協力などの分科会を合わせ
催。各分野を代表する専門家等から実践的な講義を実施。「海外からのホストタウンの評価」分科会に
スロヴェニア大使、在ジョージア大使及び元ブルガリア大使に登壇者としてご参加いただいた。
た、鈴木前大臣が参加するパネルディスカッション（在京ドイツ臨時代理大使、高知県知事、宇部市
全国地方新聞社連合会副会長、株式会社明治副社長が参加）を開催し、2020年を越えた交流の
方について議論を行った。

今年度は今月22日(金)、23日(土)に開催！

の資料はhttps://conv.toptour.co.jp/2018/hosttown1802/index.html にてご覧いただけます。





ホストタウンサミットで発表する徳島商業高校の生徒

Facebookでのホストタウンの取組発信の一例

京オリンピック競技大会・東京パラリンピ　…
ク競技大会推進本部事務局
月29日 18:21 ·

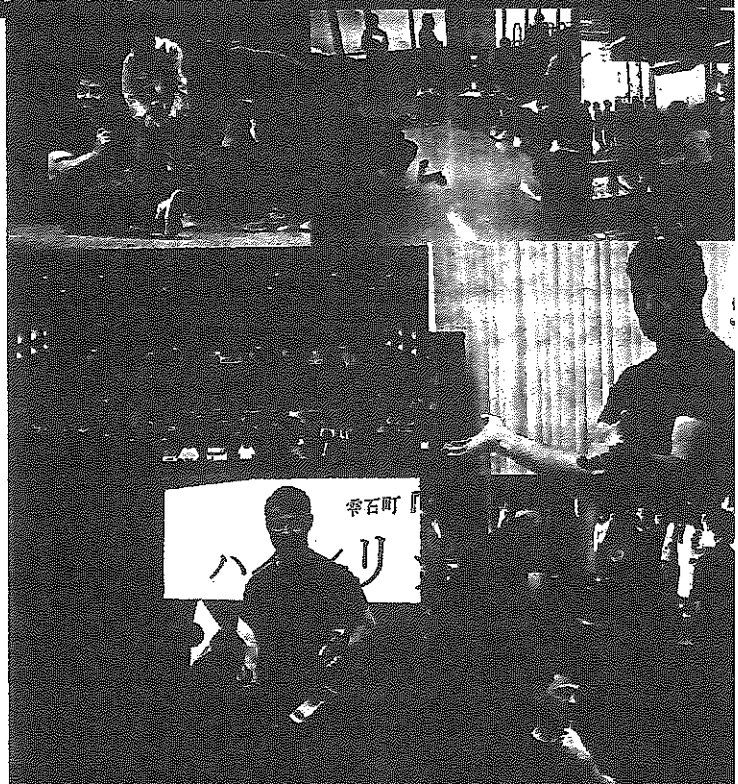
インリッヒ・ポポフ選手（リオパラリンピック・走り幅跳び金メダ
ツを相手国とする「復興ありがとうホストタウン」である岩手県
、雫石町内の児童・生徒に「立ち止まらない勇気の大切さ」と
行いました。

肢により左足を失ってから陸上競技を始め、金メダリストに
程で、ポポフ選手が直面した困難や、それを乗り越えるため
た思いについて、時折ユーモアを交えつつ紹介いただきま

、友人たちとの信頼関係が今の自分に導いてくれたこと、ス
多くの人とつながることで様々な困難を乗り越えてきたこと、
との大切さや自分に対して自信を持つこと、いつも笑顔でポジ
と、自分にも周囲の人にも正直でいることなど、ポポフ選手
アドバイスが送られました。

は、好きな言葉は何ですか？どんな困難がありましたか？
の質問が次々に飛び出しました。
てください、というお願いにも快く対応いただき、壇上で児童と
義足に履き替えてジャンプする即席のデモンストレーションに、
集の声が上がりました。

、雫石中学校、雫石高校、連携して交流を行っている山田町



都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
神奈川県	川崎市	英国	・英国の事前合宿を受入れ。英国オリンピック委員会とは、2017年3月に締結した施設使用やパートナーシップに係る契約に基づき、陸上競技、ラグビー、サッカーの3種目について事前キャンプを受け入れる。また、英国パラリンピック委員会とは、2018年5月に事前キャンプ受入に向けた覚書を締結。パラ陸上競技のほか、屋内競技等の事前キャンプを受け入れる予定。英国代表チームによる市民向け講演会の開催や英国人との交流事業、英国の公的文化団体であるブリティッシュ・カウンシルと連携した文化事業を実施。	・2016.1.26登録
	相模原市	ブラジル、カナダ	・女子サッカー、女子バレーボール等の事前合宿に関し、ブラジルオリンピック委員会、ＪＯＣとの間で覚書を締結（2017年6月）。 ・「さがプロ2020基本方針」を踏まえ、大会後のレガシー創出を念頭に、ブラジルとの間の交流事業や、パラスポーツ・障害者スポーツの普及活動に取り組む。 ・2018年度においては、日本で開催される国際大会に出場するブラジル選手団のキャンプの受入れ、ブラジルへの青少年選手の派遣等を実施。 ・カナダボートチームの事前合宿に関し、カナダボート協会、日本ボート協会及び神奈川県との間で覚書を締結(2018年1月)。 ・1991年からトロント市と友好都市の関係を継続しており、事前合宿で使用する相模湖漕艇場の施設所有者である神奈川県と連携しながら、事前合宿受入れを契機に交流の深化を目指す。	・2017.12.11登録 ・2018.4.27カナダ追加
	平塚市・神奈川県	リトアニア	・リトアニア共和国オリンピック委員会との間で2016年10月事前キャンプに関する協定を締結（種目を限定せず）。リトアニア共和国パラリンピック委員会とも、2018年5月事前キャンプに関する協定を締結（種目を限定せず）。事前キャンプを契機に同国と市内にある多様な教育機関との間で、学術交流や市民レベルの相互派遣を実施、大会後も継続。	・2016.1.26登録
	鎌倉市	フランス	・1966年にニース市と姉妹都市提携を締結し、以後50年以上にわたり市民を交えた交流が継続。 ・フランスセーリング連盟と事前キャンプに関する協定を2018年４月に締結。選手等との交流を通じて、国際親善、国際理解の機会創出を図る。	・2018.12.28登録
	小田原市	モルディブ	・モルディブ大統領の来日計画をきっかけとした縁から、国際交流イベント「地球市民フェスタ」にモルディブ大使等に参加いただくなど交流を継続。 ・2017年10月26日、モルディブ共和国オリンピック委員会と、事前キャンプに関する協定を締結。強化練習のために来日する選手の受入れ、及びモルディブオリンピック委員会関係者等を交えた交流会を実施する。	・2017.7.7登録

都道府県	登録団体名	相手国・地域	計画の特色	備考
神奈川県	厚木市	ニュージーランド	・女子７人制ラグビーニュージーランド代表の事前キャンプ誘致を契機に、ニュージーランド大使館や、ニュージーランド企業の協力のもと、スポーツ以外の分野でも交流事業を積極的に推進。2018年4月には、ニュージーランドの留学や教育に係る連携促進を図る政府機関「エデュケーション・ニュージーランド」と教育に関する了解覚書を締結し、教育の交流の活性化を図っている。また、7月には女子バスケットボールニュージーランド代表チームのキャンプを実施、9月にはニュージーランドウィルチェアラグビー協会の視察を受け入れ、2020年及び2020年以降のアジアの拠点という視野も含めて、事前キャンプ等の誘致事業を進めている。	・2016.1.26登録
	葉山町	英国	・英国セーリングチームの事前合宿を受け入れ。「日本ヨット発祥の地」として、すべての町民がヨットに１度は乗船し、ヨットを身近に感じてもらうイベントを開催している。2017年7月、事前キャンプに関する協定(単年)を締結、その後、2018年4月、事前キャンプに関する協定(2018年～2020年) ・を締結した。 2018年8月25日(土)に葉山ヨットフェスにて英国セーリングチームと町民らの親善レースを実施。	・2017.7.7登録
新潟県	新潟県・新潟市・長岡市・燕市・五泉市・弥彦村	モンゴル	・モンゴル国パラアーチェリー協会と2016年4月、2020東京パラリンピック競技大会合同練習及び事前キャンプに関する覚書を締結。モンゴル国パラアーチェリー選手団が2016年7・8月、2018年5月にそれぞれ事前合宿を実施。 ・モンゴル人力士や地元大学の留学生などと交流。市民を対象に同国の伝統や文化を学ぶ交流事業を展開。市内の小中学校生を同国に派遣。	・2016.1.26登録
	新潟市	フランス、ロシア	・1991年、市民有志による新潟・フランス協会が設立され、同協会を中心にナント市などと交流。これまでの交流を契機に、レスリング、空手、野球の各種競技の事前合宿誘致に取り組む。 ・ハバロフスク、ウラジオストク、ビロビジャンの3都市と姉妹都市提携を締結しており、古くから経済、文化、スポーツ、観光、環境や教育などの分野で交流を継続。 ・これまでの交流や、平昌冬季オリンピック競技大会でのフィギュアスケート事前合宿の受け入れを契機に、2018年11月、全ロシア新体操連盟と事前合宿に関する協定を締結。	・2016.12.9登録 ・2018.12.28ロシア追加
	長岡市	オーストラリア	・2020東京オリンピック・パラリンピックだけでなく、2018パンパシフィック水泳選手権、2019FINA世界水泳選手権のオーストラリア競泳チームの事前合宿を受け入れる。 ・トップレベルのスポーツに触れ、市民の関心を高めるとともに、国際交流の促進を図る。	・2017.7.7登録
	柏崎市	モンテネグロ、セルビア	・地元の水球社会人チームの人脈を活用して、2019年韓国世界水泳でのセルビア水球男子チームの事前合宿及び2020年東京オリンピックでのモンテネグロ水球男子チームの事前合宿を受け入れる。 ・大会前から、両国チームに在籍する選手と市民との交流を進め、2020年に向けた機運を醸成。	・2016.1.26登録